

多能工育成を目指す

事業方針を表明

紅 中

紅中（大阪市、中村晃輔社長）は2月23日、大阪市内で賀詞交歓会を開き、多能工育成など同社の事業方針を表明した。そのなかで、4月に多能工育成を目指したハウスリフォーマー育成学院大阪校が高槻営業所跡地に開設されると発表した。

同社はハウスリフォー

ーマー育成学院（長崎県西彼杵郡、中田竜学長）と提携して旧高槻営業所を同学院大阪校として開設し、関西圏

のハウスピルターや工務店を中心に多能工の育成に取り組む。労働

人口の減少で職人不足が深刻化するなか、1人の職人が複数の職種

の中田学長は「社内に多能工を置くことで、水周りの交換など今後

や技術を身につけ、ビルダーや工務店が社内効率を改善し利益の向上につなげることで、今後期待されるリフォーム需要の獲得を目指している。中村社長は「4月からの開校によって多能工を育成し、職人不足に対応していく」と述べた。

べた。

このほか、事業方針として昨年10月に横浜営業所の機能を東京支店と多摩営業所に移管したことを発表した。

基幹システムの変更で残業の抜本的な改善を行う。また、京都長岡営業所をリニューアルして営業指針を変更する。同社発祥の地となる京都への思いから営業所を町家スタイルに改修し、社是である「総合空間創造」企業を体現していく方針だ。また、熊本のSSD球磨杉・桧JAS製品について、現在月間60立方メートルの供給量を200立方メートルに拡大し、関東でも在庫販売体制を強化することを表明した。



総合空間創造企業への方針を発表する中村社長

得を目指している。中村社長は「4月からの開校によって多能工を育成し、職人不足に対応していく」と述べた。